



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社エムビーエス 上場取引所 東・福
 コード番号 1401 URL <https://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼 (氏名) 栗山 征樹 (TEL) 0836-54-1414
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の業績 (2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	1,708	1.6	173	7.7	197	6.1	131	3.9
2019年5月期第2四半期	1,682	20.3	160	△3.9	186	△1.5	126	△2.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年5月期第2四半期	18.01		17.18					
2019年5月期第2四半期	17.37		16.43					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	3,483	2,236	64.1	306.20
2019年5月期	3,002	2,097	69.4	287.67

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 2,234百万円 2019年5月期 2,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2020年5月期	ー	0.00			
2020年5月期(予想)			ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の業績予想 (2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,755	12.4	439	40.5	489	28.4	331	9.9	45.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年5月期2Q	7,296,000株	2019年5月期	7,283,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年5月期2Q	一株	2019年5月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年5月期2Q	7,290,066株	2019年5月期2Q	7,275,874株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご多用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、米中貿易摩擦問題における海外の経済情勢の不透明感に加え、台風等の自然災害や消費税増税の影響等により、景気は依然として不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、政府の公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、新たに2019年6月に宇都宮支店(栃木県)を設置するとともに、既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第2四半期累計期間における売上高は、パートナーとの関係強化継続における受注拡大を図った結果、各支店での受注額の増加により1,708,979千円(前年同期比1.6%増)となりました。営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加や今後の積極的な支店展開に向けた人材採用投資に伴う人件費の増加等にも関わらず173,138千円(前年同期比7.7%増)となりました。経常利益は、太陽光発電による売電収入22,604千円、外国社債に関する有価証券利息6,899千円のほか、減価償却費9,980千円、支払利息821千円の計上等により197,558千円(前年同期比6.1%増)、四半期純利益は、131,318千円(前年同期比3.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は1,602,523千円(前年同期比5.6%増)となり、セグメント利益は273,020千円(前年同期比11.8%増)となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が減少したため、売上高は103,627千円(前年同期比36.7%減)となり、セグメント利益は14,259千円(前年同期比38.1%減)となりました。

(その他)

FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は2,828千円(前年同期比89.7%増)となり、セグメント利益は981千円(前年同期比583.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ481,107千円増加し、3,483,694千円となりました。これは主に、現金及び預金287,500千円、受取手形62,175千円、完成工事未収入金51,378千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ342,252千円増加し、1,247,358千円となりました。これは主に、工事未払金222,931千円、買掛金45,984千円の増加、未払法人税等13,574千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ138,854千円増加し、2,236,336千円となりました。これは主に、利益剰余金131,318千円、その他有価証券評価差額金4,403千円の増加等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月12日に発表いたしました2020年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785,332	1,072,832
受取手形	80,476	142,652
電子記録債権	19,284	45,580
完成工事未収入金	482,969	534,347
売掛金	21,179	52,523
未成工事支出金	271,959	306,723
仕掛販売用不動産	6,464	6,464
原材料及び貯蔵品	20,225	11,686
その他	30,934	30,504
貸倒引当金	△5,353	△11,058
流動資産合計	1,713,473	2,192,258
固定資産		
有形固定資産		
土地	389,654	389,654
その他(純額)	261,633	244,906
有形固定資産合計	651,287	634,560
無形固定資産		
投資その他の資産	26,135	23,014
投資有価証券	285,484	291,820
その他	340,438	361,412
貸倒引当金	△14,232	△19,371
投資その他の資産合計	611,690	633,862
固定資産合計	1,289,114	1,291,436
資産合計	3,002,587	3,483,694
負債の部		
流動負債		
支払手形	221,549	258,293
工事未払金	215,937	438,869
買掛金	23,781	69,766
1年内返済予定の長期借入金	17,602	13,992
未払法人税等	90,363	76,789
完成工事補償引当金	19,451	23,725
その他	171,374	233,565
流動負債合計	760,059	1,115,000
固定負債		
長期借入金	127,214	121,384
その他	17,831	10,974
固定負債合計	145,045	132,358
負債合計	905,105	1,247,358

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,147	337,745
資本剰余金	344,914	346,511
利益剰余金	1,400,705	1,532,023
株主資本合計	2,081,767	2,216,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,352	17,756
評価・換算差額等合計	13,352	17,756
新株予約権	2,361	2,299
純資産合計	2,097,481	2,236,336
負債純資産合計	3,002,587	3,483,694

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	1,682,206	1,708,979
売上原価	1,181,178	1,173,134
売上総利益	501,028	535,844
販売費及び一般管理費	340,219	362,706
営業利益	160,808	173,138
営業外収益		
不動産賃貸収入	3,834	5,244
有価証券利息	6,366	6,899
売電収入	23,453	22,604
その他	5,742	3,048
営業外収益合計	39,396	37,796
営業外費用		
支払利息	1,035	821
売電費用	991	954
減価償却費	10,871	9,980
その他	1,090	1,619
営業外費用合計	13,988	13,375
経常利益	186,215	197,558
税引前四半期純利益	186,215	197,558
法人税、住民税及び事業税	65,520	72,993
法人税等調整額	△5,650	△6,752
法人税等合計	59,870	66,240
四半期純利益	126,345	131,318

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	186,215	197,558
減価償却費	21,085	21,403
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,388	10,843
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	4,110	4,273
受取利息及び受取配当金	△6,888	△7,277
支払利息	1,035	821
売上債権の増減額(△は増加)	△351,984	△171,193
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,727	△26,225
仕入債務の増減額(△は減少)	101,627	305,659
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△53,086	54,246
その他	△69,546	6,909
小計	△186,769	397,021
利息及び配当金の受取額	522	5,112
利息の支払額	△1,032	△706
法人税等の支払額	△66,532	△85,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	△253,812	316,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
保険積立金の積立による支出	△21,285	△20,705
有形固定資産の取得による支出	—	△222
無形固定資産の取得による支出	—	△233
貸付金の回収による収入	400	350
敷金及び保証金の差入による支出	△538	—
敷金及び保証金の回収による収入	180	455
その他	△300	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,544	△20,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△44,136	△9,440
リース債務の返済による支出	△2,293	△1,978
新株予約権の行使による株式の発行による収入	964	3,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,465	△8,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△320,721	287,500
現金及び現金同等物の期首残高	761,521	785,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	440,799	1,072,832

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,517,129	163,586	1,680,716	1,490	1,682,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,517,129	163,586	1,680,716	1,490	1,682,206
セグメント利益	244,187	23,040	267,228	143	267,372

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,228
「その他」の区分の利益	143
全社費用(注)	△106,563
四半期損益計算書の営業利益	160,808

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,602,523	103,627	1,706,150	2,828	1,708,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,602,523	103,627	1,706,150	2,828	1,708,979
セグメント利益	273,020	14,259	287,279	981	288,260

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	287,279
「その他」の区分の利益	981
全社費用(注)	△115,122
四半期損益計算書の営業利益	173,138

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。